

8/20
~21

9/2

令和8年度 大規模災害対応講習会を開催

8月20日(木)、21日(金)の2日間、

本学において第13回目となる大規模災害対応講習会を対面とオンライン（Zoomによるライブ配信）のハイブリッド形式で開催いたしました。消防、警察、海上保安庁、行政、大学、電力会社などから、対面34名、オンライン28名、合計62名にご参加いただきました。堀江学長の挨拶に始まり、2日間で7つの講義（災害時の健康管理の実際、バイオテロに用いられる病原体の基礎知識と災害対応、災害現場における医療対応、法医学的対応、放射線の基礎知識と災害対策、化学物質の基礎知識と災害対策、個人用防護具について）と、2つの実習（災害対策机上訓練、放射線災害対応・防護服着脱）を行いました。初日終了後には意見交換会も開催し、異業種の方々との活発な意見交換の場となりました。

また9月2日（水）には、化学防護手袋研究会との共催により、東京（エッサム神田ホール）にて講習会を開催し、医療従事者を中心に46名にご参加いただきました。本学からは5つの講義（法医学的対応、災害現場における医療対応、放射線の基礎知識と災害対策、生物剤の基礎知識と災害対応、化学物質の基礎知識と災害対策）を行い、化学防護手袋研究会には手袋着脱に係る実習をご担当いただきました。

大規模災害が実際に起こった際、初期対応としてどのように対処すべきかについて、いろいろな視点から学ぶことができるという意味では、産業医科大学ならではの講習会であると思われます。受講後のアンケートでも、講義内容について全般的に高い評価をいただきました。

両講習会の開催にあたり、協賛企業の皆様、講師の先生方、講座スタッフの皆様、そして大学管理課、研修事業課の皆様には、格別のご支援とご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

